十一日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷人　加納藩版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
△日刊（日曜、祭日）休刊

紛擾解決を期に
磐崎消防臨時撿閲
あす小學校庭で擧行

磐崎消防組の紛擾は横山平署長の斡旋で一年ぶりで圓滿に解決した旨昨報の如くであるが、平署では十二日午前六時から小學校庭で臨時消防檢閲を執行する事になつた。

海軍の召集
事務檢閲

濱三郡並に小野新町署管内海軍召集事務檢閲は十二日午前八時から平警察署で執行するが、檢閲官は横須賀鎮守府古田中大佐である。

▲平町會召集

平町では十三日午後二時から町會を召集高利債借換並に八年度特別會計更生に關し協議する。

第三校の
工事入札

第三小學校は一萬八千圓で夏休み中に增築する筈で十七日正午から町役場に於て工事の入札を行ふ。

▲十三日會例會

平十三日會例會は十三日午後七時からマルトモホールに開き左の講演がある。

一、物質觀の新傾向　北海道帝國大學學生　課長　尾崎卓郎氏
一、純正日本の確立　學生　小野藤雄氏
一、歌人橘曙覽　同　小野淳信氏
一、この人と共に行かん　同　小川博三氏

石城郡の酒造稅
今から納付督勵
稅額十四万四千圓

七年度第一期酒造稅十四萬四千六百十九圓九十七錢の納期は今月末日なので平稅務署管内三十六軒の酒造業者は稅金調達のため賣掛金の回收に目下大汗である。昨年に比し酒造石高が增加しただけ稅金も一萬圓から殖えてをり、而も酒の賣上げは炭礦擧士鈴木正男氏は田町藤田女學校前に耳鼻咽喉科專門醫院を開るのでいたが、正男氏の令弟喜政氏は衆議員議員鈴木辰三郎氏令息醫學校を卒業後六年入山炭礦採炭係として勤務したもので、失戀の結果でないかと言はれてゐる。

▲鈴木醫院開業

一（二一）と言ひ昭和五年平商業藏氏を決定した。

平商の卒業生
ダイナマイト自殺
今朝新舞子海岸で
失戀の結果らしい

十一日午前七時半頃草野村赤沼新舞子海岸でダイナマイトを懷中にして点火し無慘の自殺を遂げた男があるので四倉署から神永部長出張檢視した結果同人は内郷村大字白水利重長男若松政一郎氏を附議し收入役代理として荻貞

▲大野村初村會

大野村初村會は十日午前十時より開催。
一、收入役代理を定むる件
一、町村制第百二十一條の二に依る委員選擧の件

營林署で
人夫募集

平營林署管下石城郡赤井、川前小川等の新植樹手入れ作業は豫定通り近く管下一齊に開始されこれが使用人は一日平均四百名以上延一萬人に上るべく係員は目下各方部を行脚募集中であるか、一日六十五錢以上になるので時節柄申込頗る多いと。

▲精神作興講演會

四倉町在郷軍人分會では二十日午後二時より四倉小學校に於て後備陸軍少將伊豆凡夫氏を招き精神作興、民風改善、思想善導の講演會を開く。

植付不能の田
八十九町に達す
小名濱、玉川が甚しい
石城駐在米山技師調査

石城郡駐在米山技師は石城郡下鐵道邊りでも平、久の濱間各列に於てる水不足のため植付不能車毎に增結するやら、郡山驛で反別を調査中であつたが十日現は四倉驛間二割引し團体浴客等在で小名濱町の三十六町歩、の計劃があり河童の天下がやつ川村の二十八町歩を筆頭に全部で八十九町一反歩に達してゐる而して植付けた後に稻が枯死した反別は小名濱町十町歩、玉川村十五町歩で關係農民は殆んど狼狽してゐるが、こゝ一週間の降雨がなければ右反別は植付全然不能に陷るわけで農會では稻をあきらめ小豆、晩生胡瓜の植付けをなさしむ可く奔走中である。

▲柴田氏寄附

平町八幡小路柴田德二氏は過般死去した長女靜子さんの母校磐城高女へ圖書講入費二十五圓寄附した。

▲青年分團長會

平青年團では十二日午後七時からマルトモホールに於て分團長會議を開き基金造成に關し協議する。

暑氣本格的となり
海水浴場賑ふ
鐵道でも大童で宣傳

愛醫な梅雨もやうやく昨日で上り愈々本格的な熱さがやつてくるので海へ……山へ……夏休を利用し暑熱を避ける旅行計劃が進められてゐるが、平町を中心とした石城七濱の海水浴場は次の如く各濱共十五日頃から二十日頃までに開場するので地元は何れも準備に忙殺され年毎に盛んになつた浴客吸集宣傳に努め

▲松川磯海水浴場（勿來町）
勿來驛より約十五町バス往復十五錢、岬角に怪礁相擁し附近景色よく灣内波靜かで「吹く風を勿來の關と思へども」の有名な勿來の關がある。町では十五日頃浴場を開き無料脫衣場、救助船の設備を爲す筈。旅館は一圓から二圓五十錢、貸間も十軒ある。

▲小名濱海水浴場（小名濱町）
泉驛より一里餘磐城軌道及バス片道十五錢、外海に珍らしい程波靜かで警備船、無料脫衣場あり二十日頃から開場、旅館八軒一泊一圓二十錢から二圓五十錢、貸間三十軒一疊一圓の割合。

▲四倉海水浴場（四倉町）
四倉驛より約十町、海水浴場までバス十錢、平驛間汽車賃十六錢、乘合自動車海邊まで二割引四十錢、バラック脫衣場、跳込臺、貸舟等があり縣内一の盛り場、郡山驛から二割引の便がある、二十日頃開場旅館及貸間もある。

▲久の濱海水浴場（久之濱町）
驛より約三町濱續きに有名な波立藥師があり白砂青松にして風光明眉の地、旅館一圓より二圓、貸間一疊一圓位。

▲豊間海水浴場（豊間村）
平町より約三里、乘合自動車片道四十錢同村薄磯海水浴場はキャンプ地で東北一の漁屋岬燈臺や近くに深淵莊嚴な沼の内辨財天がある。

▲新舞子海水浴場（大浦村）
草野驛より約二十五町驛より自動車便片道五十錢新日本百景に選ばれた風光絶佳の地、海邊に旅館あり、青年團、消防組員等浴客の便を圖るなど最近非常に賑やかになつた。

大學卒業生も
失業者の登錄
平匡救事業の人夫

平町では本年度匡救事業の使役者登錄を八日まで平職業紹介所で取扱つたが、男百九十人、女八十四人、合計二百七十四人で昨秋の二百九十五人に對し二十一人の減數を示した。これは景氣幾分回復し各種事業が增加した結果と觀られてゐる。今回の登錄者中々央大學政治經濟科出身の異色あるものが一人あつた

平、四倉間の
自動車收入

平町では本年度匡救事業の使役二十錢で堂々泳ぎ場まで乘りつけられる重寶な乘合自動車は四で取扱つたが、男百九十人、女營業者で十臺で雜踏する、日曜等の收入は一臺ザット十二、三圓、水銀柱の上るに隨つて漸次增收となり盛時に入れば更にバス四臺を增しても尙收入はグッと上つて二十圓程度で、一方法外な安値の貸切自動車の壓迫に抗しつゝ砂塵の中に展開される自動車の乘客奪戰こそ今年も亦相變らず物凄いことであらうとは海の世界を前にしての一点描である。

毎度御引立を戴いた蒲鉾製造の藤寅は、例年の通り初めました。

冷いお美味しい飲物。

夏の夕の散歩には是非御立寄を……。

アイスクリーム（山盛）金拾錢
あつきアイス（仝）金五錢
ミルクセーキ　金拾五錢
ソーダ水（各種）金拾錢
みつ豆（特製）金八錢
其他〜〜氷水各種　—（出前迅速）—

平町一丁目
藤寅
電話一四一番

印刷物は……加納活版所へ

春・秋・冬中は蒲鉾・磯田場等に付多大の御ひいき下され御禮申ます
夏期中は皆々様の納涼の慰？

例年の通り
みつ豆・氷水
アイスクリーム
ミルクセーキ
其他各種
賣初めました
尚一層の御引立を願ます
弊店は電力應用に付配達は迅速にいたします

平二町目
藤市
電話三〇五番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前

歯科口腔外科
日本歯科醫學士　鈴木喜政
内郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

脫衣場開設

毎度御引立を戴いた蒲鉾製造の米好は例年の通り海水浴の賣店を八日より初めました。納涼の慰安に御出ましの際は是非御立寄を御待ちして居ります。

冷たいお美味しい飲物
並中食……三十五錢
折詰御辨當……三十錢
其他御用命に應じ迅速に致します。

八年七月十一日
四倉海岸脫衣場
中央店
米好賣店
大河原米松

石炭
コークス
玉炭
平驛前
阿部石炭商店
電話三七番

吉田眼科病院
平町紺屋町　電話六八番

胃腸　**肺結核**
内科專門
十二指腸虫病
淋病　婦人病
膚皮病專門
松村胃腸肺性病醫院
平町南町【電話一〇七番】

自動車
助手　至急入用
年齢十七歳以下の少年を歡迎す希望者は四倉仲町（竹の家事）緒方與平宅に御出で願ふ

驛前より玉山を經て小川郷行き專問
（三十分毎に發車）

草野自動車部
主任　緒方與平
四倉仲町
電話四倉一（二）番呼

毎度有難ふ御座います。

そろ〜〜初めましたから御涼みがてらどうぞ御立寄り下さい。
御待ちして居ります。

アイスクリーム　山盛　十錢
アズキアイス　山盛　五錢
ミルクセーキ　十五錢
氷キントン　十錢
氷パインザ　十錢

此外にも色々とめづらしい飲物も澤山御座います。

出前迅速

出前持
飯炊婦　**大至急入用**
一才迄面談を要す

冷の
八せん
つい豆を
魚徳食堂部
電話六三三番